

～グローバル人材の育成・補習校の意義～

現在、グローバル人材として、「豊かな語学力・コミュニケーション能力」、「主体性・積極性」、「異文化理解の精神」、「日本人としてのアイデンティティ」等が求められます。

以前、文科省の海外子女教育担当官が在外子女教育の意義を次のように語っていました。

「青少年の貴重な一時期を外国で過ごす海外子女こそ、有望なグローバル人材となるのではないか・・・グローバル人材育成の海外拠点として日本人学校や補習校などの整備が急務である。」として補習校への期待と支援の必要性に言及していました。この具体的なものが、下記に記載した「在外教育施設グローバル人材育成強化戦略（平成28年5月19日 文部科学省）」です。



この一ヶ月、レインボー学園の子どもたちを間近に見て思うことは、文科省の期待通り、この子たちの能力の高さです。日本が求めるグローバルな人材として着実に力をつけつつあることがわかります。現地校と補習校の二重環境で、物事に積極的主体的に取り組む姿勢、屈託なく人と交われるオープンマインド、遠く異国の地だからこそ、日本を強く意識した精神を身につけつつあります。

レインボー学園の教育目標「日米の双方の文化を尊重する国際性豊かな子どもを育成する。」「将来、日本との架け橋となれるような子どもの育成を図る。」の達成のために、さらなる教育の充実をはかっていきたいと思えます。

○在外教育施設グローバル人材育成強化戦略について（一部抜粋）

1. グローバル人材育成最前線にある在外教育施設の教育の質の向上を図ることは、我が国のグローバル化戦略の中でも極めて重要かつ有効な施策。
2. 従来型の教育支援から、グローバル人材育成のための拠点として、より積極的なグローバル人材育成に資する教育の強化を図ることが重要。
3. 補習授業校（以下、補習校）は、語学のみならず、外国の教育を直接体験しているグローバル経験豊富な子供たちが多く、補習校における教育の充実を一層図ることも重要。
4. 長期滞在者や日系人の児童生徒が増加する中、必ずしも日本への帰国を前提としない児童生徒に対する日本語教育の支援や学習支援の提供は、国外における我が国の理解者を増やす上でも有効。
5. 未就園児や幼稚園児の比率が高まる中、母語習得や資質・能力を伸ばす基礎を形成する重要な時期の幼稚園段階の教育の在り方について検討することは重要。

○今月の目標について

学校をたいせつにつかおう。※こわさない ※よごさない ※さわらない

ご家庭でも、ご協力いただき、この活動を推進していきたいと思えます。

○5月30日（火）は、事務所を閉鎖します。

5月29日（月）がメモリアルデーで祝日となります。そのため、翌日の5月30日（火）は事務所は閉鎖となります。事務所にご用のあられる方は、ご注意ください。



○授業料の銀行引き落としのご準備をお願いします。

6月12日（月）に 第2期（前期後半分）の授業料の銀行引き落としを行います。口座の方のご確認をよろしくをお願いします。なお、学級写真を注文された方は、それも一緒に引き落としさせていただきます。